



太地大運動会

10月1日（日）、太地小学校グラウンドにおいて、太地大運動会が行われました。

晴天の下、皆が一丸となって、綱引きやリレー、玉入れに鯨踊りなど様々な競技や踊りに取り組み、爽やかな汗を流していました。

教員と一般の方々の仮装や、子どもたちの一生懸命な姿に、観客から声援や拍手が起こるなど、運動会は大盛り上がりでした。

目次

平成28年度 太地町の決算	2
平成28年度 主要施策の成果	4
トピックス	10
議会報告	12
盆供養花火大会収支決算書	13
住民福祉課便り	14
くじらの博物館便り	16
お知らせ	18
保健衛生関係行事予定	20

平成28年度・太地町の決算

太地町の平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）決算がこの程まとまり9月に開かれた定例議会で承認されました。一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が40億7,500万1千円、歳出が38億8,608万7千円となりました。

限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力は、今後も続けていきたいと思っております。

平成28年度の決算の概要をお知らせいたします。



太地町幼年消防クラブを新設



暖海公園内にトイレを新設

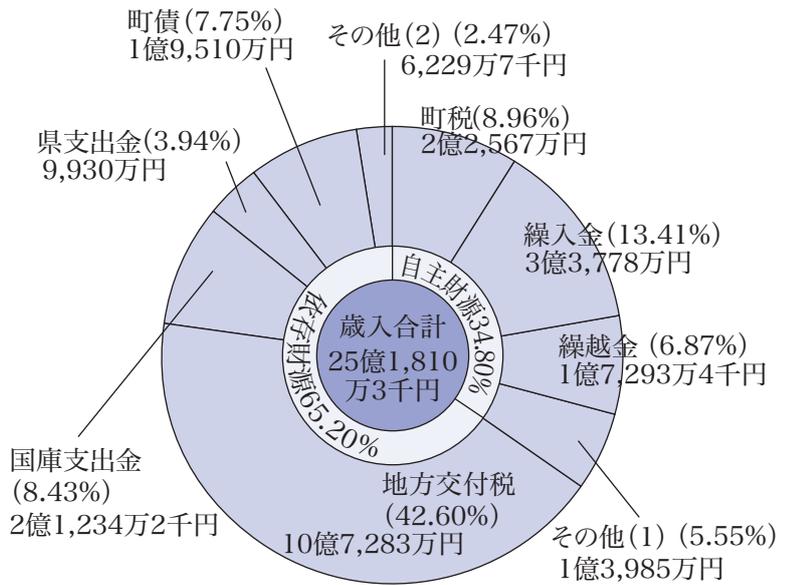
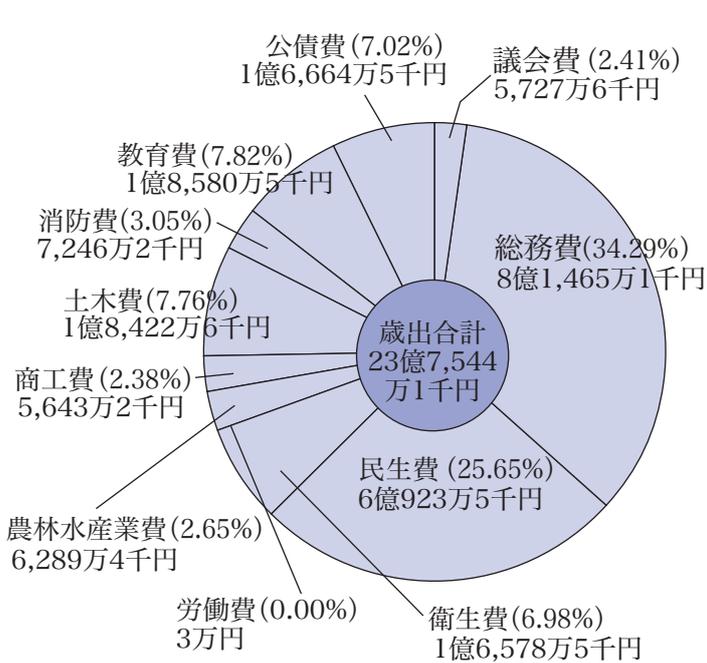
平成28年度 会計別決算状況

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	25億1,810万3千円	23億7,544万1千円	1億4,266万2千円
国民健康保険事業	6億5,698万8千円	6億4,281万円	1,417万8千円
公共下水道事業	5,623万5千円	5,443万1千円	180万4千円
くじらの博物館事業	3億2,599万2千円	3億1,104万6千円	1,494万6千円
介護保険事業	4億959万1千円	3億9,590万5千円	1,368万6千円
後期高齢者医療事業	1億809万3千円	1億645万4千円	163万9千円

企業会計	歳入	歳出	差引
水道事業	8,714万8千円	7,707万8千円	952万5千円

※企業会計の歳入歳出差し引き額の相違は消費税分です。

一般会計



《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

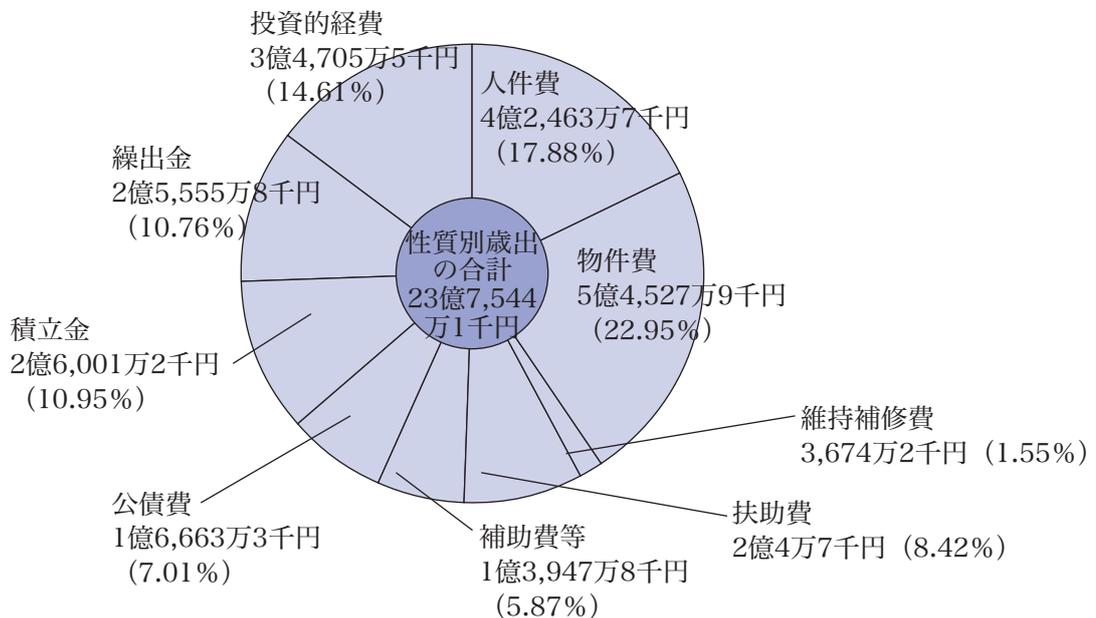
自主財源とは町が自ら徴収または収納できる財源で当町の場合、歳入の約35%を占めています。また、依存財源とは国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約65%を占めています。

その他(1)の内訳

分担金及び負担金	426万円(0.17%)
使用料及び手数料	1,446万5千円(0.57%)
財産収入	8,872万2千円(3.52%)
寄附金	526万3千円(0.21%)
諸収入	2,714万円(1.08%)

その他(2)の内訳

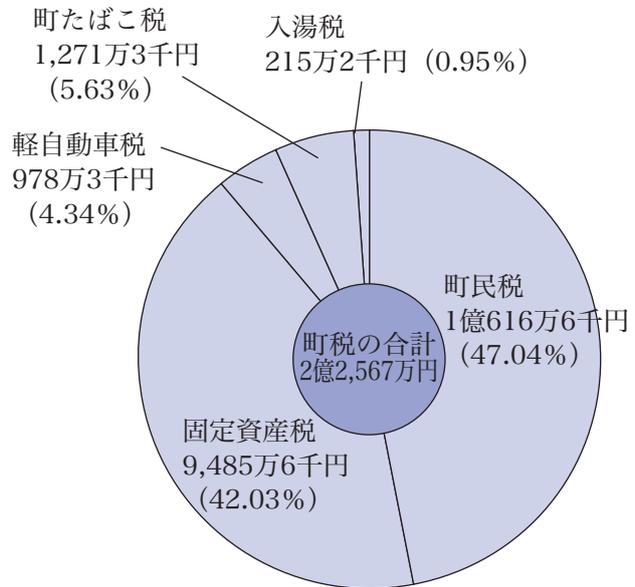
地方譲与税	1,025万4千円(0.41%)
利子割交付金	60万7千円(0.02%)
地方消費税交付金	4,609万5千円(1.83%)
自動車取得税交付金	215万8千円(0.09%)
地方特例交付金	93万9千円(0.04%)
配当割交付金	149万7千円(0.06%)
株式等譲渡所得割交付金	74万7千円(0.03%)



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記のようになります。

※住民基本台帳 人口 3,241人
(平成29年3月末現在)

町民税	32,757円
固定資産税	29,268円
軽自動車税	3,019円
町たばこ税	3,923円
入湯税	664円
合計	69,629円



平成28年度 主要施策の成果

総務関係

町営じゅんかんバス運行事業は、フリー乗降制バスの本格稼働により2台体制の運行体系をとり住民及び観光客の利便性の向上を図るとともに、夏山地区タクシー券交付事業についても引き続き実施した。更なる防災力強化・充実を図るため、自治体のネット環境等を再構築しセキュリティ対策の向上に努め、再生可能エネルギー等導入推進基金を活用しLED避難路誘導灯を7基設置した。また、県補助金を活用し防犯カメラ11台を5地区6箇所を設置した。そのほか、家具類転倒防止対策支援事業として希望する世帯の家具類に転倒防止金具の取り付けを行った。

企画関係では、将来構想としての森浦湾鯨の海構想に係る計画検討業務の実施を始め、県補助金を活用し森浦湾へ鯨類観覧用生簀を整備した。地方創生事業として地域振興施設道の駅の整備の実施設計を行い本工事に着手するとともに、プロモーション動画作成、くじらの博物館展示物ユニバーサル化事業等において地方創生加速化交付金を活用した。また、国際交流の活性化のため、町内中学生を姉妹都市オーストラリア・ブルームへ本年度も派遣した。そのほか「国土強靱化地域計画」を策定した。

旧グリーンピア南紀跡地の利活用については、施設の維持管理に努め、園地、施設等を一般に開放、グラウンド整備を行うとともに昨年度に引き続き太陽寮を警察官の宿舎として有効に活用した。

財政関係では、統一的な基準による地方公会計の整備促進に努め、財政の健全な運営に資するために財政調整基金、減債基金への積立を行った。また、税の滞納圧縮のため、延滞金の徴収及び滞納処分を積極的に進め和歌山地方税回収機構を有効活用した。今後においても徴収率の向上に向け努力を重ねたい。

(単位：千円)

事業	金額	備考
町営じゅんかんバス運行事業	19,089	じゅんかんバス、フリー乗降制バス
バス停留所整備事業	1,004	くじらの博物館前待合所
夏山地区タクシー券交付事業	294	
家具類転倒防止対策事業	809	71件
旧グリーンピア南紀維持管理関係	18,553	賃金他
地方創生加速化交付金事業	20,996	くじらの博物館事業会計操出金含む
セキュリティ対策事業	16,026	情報系システム
防犯カメラ設置事業	6,291	5地区6箇所11台
土地購入事業	73,112	道の駅関係
道の駅整備事業	11,308	実施設計

事業	金額	備考
鯨類観覧用生簀製作設置事業	9,644	生簀 3 基
森浦湾鯨の海計画検討事業	1,500	計画検討委託料
国土強靱化地域計画策定事業	5,832	
LED 避難誘導灯設置工事	7,280	町内 7 基
公用車購入事業	1,132	広報用スピーカーマイク設備登載軽自動車
新地方公会計導入事業	6,102	システム等導入及び固定資産台帳整備
基金積立事業	260,000	財政調整基金、減債基金

民生関係

高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者の生活を支える地域ケア事業、配食サービス、介護用品給付事業等を実施した。介護予防事業では、高齢者トレーニング事業、リハビリテーション講座、介護予防啓発講座を実施した。認知症高齢者対策として、小・中学生に認知症サポーター養成講座を実施した。

障害福祉関係では、ひきこもり者社会参加支援センターを設置し、8月より事業を開始した。

旧熊野の宿棚については、町民の予防介護、健康づくり、生きがいがづくりの拠点として、また高台への福祉避難場所にも活用することができる施設として、施設の改修を実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
社会福祉費	72,355	国民健康保険事業会計への繰出金
	4,744	地域ケア事業委託料
	26,277	旧棚施設改修事業
老人福祉費	1,000	生活管理指導員派遣事業委託料（介護保険事業）
	1,376	理学療法士派遣事業
	3,000	配食サービス委託料（介護保険事業）
	283	介護用品給付事業費（介護保険事業）
	17,692	老人福祉施設入所措置費
	2,267	緊急通報業務委託料
	3,810	南紀園分担金
	989	老人クラブ助成金他
	52,256	介護保険事業会計への繰出金
69,616	後期高齢者医療事業会計への繰出金	
児童福祉費	31,067	振興費、児童手当
乳幼児医療対策費	8,368	乳幼児医療費、就学児医療費
ひとり親福祉費	3,059	医療費、ひとり親家庭高校生就学援助費他
障害者（児）福祉費	11,898	医療費、福祉手当他
	99,889	障害福祉サービス費等

衛生関係

住民が「健康でありたいと願い行動する町」を目指し、疾病や感染症予防・早期発見のため、各種検診や予防接種を実施している。国保加入者には、特定健康診査、特定保健事業、脳ドック助成事業を実施した。また、各種検診の充実を図るため、胃内視鏡検診を新たに導入した。現在、精度管理体制の整備に努めている。今後も健康づくりの一層の充実に努めたい。

清掃センターの運営、維持管理を行い、施設内においては固形燃料施設の安全管理、各設備の補修、補完を行った。また、環境衛生施設一部事務組合の運営に要する経費の負担や浄化槽設置補助を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
保健衛生関係	17,215	予防費、母子対策費、健康増進費
	97,909	清掃センター運営費等
	4,316	浄化槽設置費補助金
	15,434	環境衛生施設一部事務組合負担金
	1,030	公衆便所管理費

労働関係

労働者福祉の促進を図るため、新宮東牟婁地域労働者福祉協議会に対し、助成事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	30	新宮東牟婁地域労働者福祉協議会助成金

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。

鳥獣被害防止事業費として、有害鳥獣の捕獲報償事業、有害鳥獣の防除ネット等の資材費補助事業を行った。

水産総務費としては、毎年行われている海水質検査の委託と、大規模な津波の到来が予想される当地域における漁港防災対策として、太地漁港の外郭施設および係留施設の耐震、耐津波機能診断を実施した。

漁業振興費としては、毎年行われている稚魚放流事業として、平成25年度から行っているクエの放流事業を今年度も実施した。また、水産資源の増加並びに漁家収入の増大を図り、磯根漁場再生事業としてヒジキ場の造成、ナマコの種苗の放流と調査及びアワビ類種苗放流基質の設置と調査を行った。

捕鯨対策費としては、スロベニア共和国で開催された第66回IWC総会に参加し、捕鯨存続運動を推進した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業振興費	20	県土地改良事業団体連合会負担金
	45	水稻実行組合助成金
	45	果樹研究会助成金
花畑等整備事業費	600	町内植栽事業、沿道花壇の整備等
鳥獣被害防止事業費	970	鳥獣防除ネット等資材費補助金他
林業振興費	160	松食い虫被害木伐採委託料
ふれあいの森管理費	151	ふれあいの森管理費
水産総務費	92	水質（海水）検査委託料
	21,600	太地漁港機能保全計画策定業務委託料
	1,349	漁港公衆便所外壁改修工事

(単位：千円)

事業	金額	備考
漁業振興費	499	クエ稚魚放流事業
	100	緑のボランティア助成金
	1,800	稚貝稚魚放流事業助成金
	325	磯根漁場再生事業助成金（ナマコ）
	400	磯根漁場再生事業助成金（藻場再生）
	400	磯根漁場再生事業助成金（アワビ）
捕鯨対策費	7,683	IWC 捕鯨全面禁止絶対反対太地町連絡協議会助成金他

商工関係

商工では、南紀くろしお商工会への助成等により、商業の振興に努めるとともに、近年問題となっている消費者トラブルについては、その防止を図るべく啓発事業を行った。

観光では、各種キャンペーン等に参加し、観光客誘客に努め、また、昨年に引き続き海水浴場内において「くじらに出会える海水浴場」と題し、鯨類ふれあい事業を行った。さらに教育旅行の誘致を推進するため、スクールキャラバンによる営業活動をはじめ、DVD等、プレゼン用品の充実を図った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	3,800	南紀くろしお商工会助成金
	329	公設市場負担金
観光費（工事請負）	523	くじら浜海水浴場整備工事
観光費	3,478	海水浴場ふれあい事業費 鯨類借上料他
	5,244	吉野熊野国立公園熊野地域美化清掃協会分担金
	500	花火大会助成金
	6,197	教育旅行誘致活動費

土木関係

生活道路の安全・安心な交通を確保するため、各種点検を実施し、その結果を基に、町道の的確な維持管理を実施した。また、津波からは「とにかく逃げる事」が重要であることから、津波危険地域である夏山地区、向山地区の避難路を整備し防災対策を推進した。

都市公園においては、第2暖海公園公衆便所の改築に加えて、太地公園駐車場の整備や設置年が不明であった遊具の取替えを行い、公園の利用促進と遊具の安全対策を実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路改良費	19,542	トンネル・橋りょう点検業務委託事業
	7,360	スバル西地線道路改修工事
	6,787	清水線道路舗装工事
	5,180	山添久保線道路舗装工事
	4,911	夏山地区避難路整備工事
	1,732	向山地区避難路整備工事
	7,106	山中2号線道路新設工事

(単位：千円)

事業	金額	備考
公園費	20,385	第2暖海公園公衆便所整備工事
	3,187	太地公園駐車場整備工事
	3,337	太地公園すべり台取替工事

消防関係

災害に強いまちづくりのため多機能型消防車を導入するとともに、森浦地区の消防車庫整備及び防災複合施設の改修工事を実施した。また、更なる防災力強化を図るため太地駅の駅舎を防災複合施設として活用するため実施設計等を行った。そのほか、住民参加型の避難訓練を実施し備蓄品を購入した。

救急関係では、救急技術向上のため消防署主催のメディカルコントロール協議会に参加するとともに、新規隊員養成のため2名が専科教育救急科に入校し資格を取得した。また、住民に対して応急処置、AED取扱い等の講習会を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
常備消防費	225	専科教育救急科入校等費用
	984	救急隊シャワールーム設置工事
	1,800	救急車用多機能モニター
非常備消防費	7,023	多機能型消防車
	4,325	消防車両用車庫整備工事(第2分団)
災害対策費	18,967	駅舎防災複合施設整備事業(実施設計等)
	756	森浦防災複合施設改修工事(改修設計)

教育関係

本町は「かしこくて、丈夫で、やさしい子どもの育成」をスローガンとし、町の文化、伝統を併せて学ぶ取り組みの充実、人を思いやる優しい心の育成、確かな学力の定着を目的に、地域と学校と家庭が一体となって教育行政を引き続き推進した。

学校教育では、「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「地域に根ざした学校づくり」を基本方針としてきめ細やかな指導を行った。

教育委員会事業では、平成18年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティネットの日が設けられ、学校教員、安全ボランティアの協力により登校指導を実施した。

小児生活習慣病予防対策事業は、児童・生徒と保護者の生活習慣病の実態を明らかにし、生活習慣病の影響を把握するとともに、今後健康的に大人に成長するために親子で検診の予防事業を実施した。

食事のマナー習得のため、中学3年生を対象にテーブルマナー習得講習会を実施した。

社会教育では、あらゆる活動を生涯教育と位置付け、町民一人ひとりが生きがいのある日々を送れるよう計画し、取り組んだ。

青少年健全育成事業として、特に夏休み中に地域のボランティア、警察等の協力のもと夜間パトロールを実施し、指導を行った。

また、児童を対象にした「ユークラブ」は遊びを通じ、大人と子どもが地域の住民や自然とのふれあいが出来るよう努めた。

保健体育では、市町村対抗ジュニア駅伝競走、小学校との合同運動会、グランドゴルフなど各種事業を行い、各種団体活動への助成を行った。又、文化財関係では、敷地や環境保護の整備に努めた。

教育委員会工事では、小学校給食調理室修繕工事、小学校体育館扉修繕工事、中学校エアコン設置工事、中学校給食調理室改修工事、公民館大集会室エアコン取替工事を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
教育総務費	493	小児生活習慣病予防対策事業費
	21,147	こども園建設関係設計業務等委託費
	2,143	学校教育指導主事共同設置負担金
	1,700	青少年センター分担金
	4,095	外国青年招致事業
小学校費	1,556	校舎校具等維持修理費
	1,578	教室・教材費
	958	教材備品、図書、給食備品
	890	姉妹都市白馬村児童派遣費補助金
	588	就学援助費
	1,485	小学校調理室改修、小学校体育館扉修繕工事
中学校費	1,129	校舎校具等修理費
	1,721	教材用消耗品
	2,264	教材備品、校具、図書、給食備品
	494	生徒派遣費補助金
	139	テーブルマナー習得講習会時費用
	3,876	中学校エアコン設置工事、中学校調理室改修工事
	624	就学援助費
幼稚園費	418	園舎教具等修理費
	277	大型三輪車、CDデッキ購入費
社会教育費	908	カレンダー印刷製本費
	123	いさな通学合宿事業
公民館費	105	文化講演会講師謝金
	7,171	公民館大集会室エアコン取替工事
	571	修繕費
	615	備品購入費
文化財保護費	200	太地町民芸保存会助成金
青少年健全育成費	766	青少年健全育成費
石垣記念館費	91	絵画展示会費
保健体育総務費	471	ジュニア駅伝参加費
	436	町民駅伝大会費用
	493	スポーツ少年団活動助成金
	321	スポーツ振興児童生徒派遣費



9/19(火) **職**場体験

9月19日（火）から2日間太地中学校生徒が職場体験を行いました。左の写真は藪内俊輔（やぶうち しゅんすけ）さんが漁協スーパーで商品を並べています。漁協スーパーに決めた理由はよくスーパーを利用するからだそうです。

また白鯨では阪本宙吾（さかもと ちゅうご）さんが浴槽の清掃をしていました。大変だったことは客室の掃除で、楽しかったことは担当の方と話をすることだそうです。

道の駅では矢田真那斗（やた まなと）さんと世古悠馬（せこ ゆうま）さんが皿洗いや配膳をしていました。配膳の方法を覚えることが大事らしいです。

本記事は、役場に職場体験に来てくれた汐見篤人（しおみ あつと）さんが取材・執筆した記事です。取材を終えての感想を尋ねると、「それぞれの職場で頑張っているのだなと感じました。」と話してくれました。

9/21(木) **交**通安全啓発

9月21日（木）～30日（土）までの秋の全国交通安全運動期間に際し、太地町では、21日（木）に小畑石油店付近の交差点で街頭啓発を行いました。

新宮警察署、交通安全協会協力のもと、ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけ、啓発物資の配布をしました。



9/29(金) **い**つまでもお元気で

9月29日（金）時点で、町内在住の男性の最高齢は、97歳の東誠一郎（ひがし せいいちろう）さん、女性の最高齢は、99歳の稗田秋子（ひえだ あきこ）さんでした。ご長寿お祝い申し上げます。

いつまでもお元気でお過ごしください。

10/2(月) **和** 歌山県行政報告会

太地町公民館に仁坂吉伸和歌山県知事がお越しになって、和歌山県行政報告会が行われました。

報告会には、約300名が来場しました。

三軒町長が始めに挨拶をされ、その後知事が、防災対策や新規事業等、和歌山県の重点施策や地域の課題について話されました。



10/2(月) **道** の駅「たいじ」にベンチ寄贈

新宮木材共同組合様、紀南木材新緑會様より、道の駅「たいじ」にベンチを5基寄贈していただきました。

新宮木材共同組合様、紀南木材新緑會様には、店内レストランに設置しているテーブルとイスを製作していただきました。

寄贈していただいたベンチは、大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。

10/13(金) **健** 康教室

太地町多目的センターにおいて、健康教室が行われました。

理学療法士の徳山和宏（とくやま かずひろ）先生をお招きし、座りながらできる簡単なストレッチや筋肉トレーニング法を指導していただきました。

24名の参加者は、楽しみながら教わったトレーニング法を実践していました。



議 会 報 告

平成 29 年第 3 回太地町議会定例会

平成 29 年第 3 回太地町議会定例会が、9 月 13 日に開会しました。

今定例会には町長から、報告 2 件、条例の制定 1 件、条例の一部改正 1 件、補正予算 4 件、決算認定 7 件、その他 2 件が提出され、審議されました。

また、特別委員会につきまして高台整備検討特別委員会が設置され、委員長、副委員長も選出されました。

一般質問では、2 名の議員から質問が行われ、町政一般について町の考えを問われました。

報 告

※健全化判断比率の報告

※公営企業会計に係る資金不足比率の報告

条例の制定

※太地町立こども園条例の制定 【可決】

条例の一部改正

※太地町個人情報保護条例の一部を改正する条例 【可決】

補正予算

※平成 29 年度太地町一般会計補正予算（第 3 号） 【賛成多数で可決】

※平成 29 年度特別会計太地町国民健康保険事業補正予算（第 2 号） 【可決】

※平成 29 年度特別会計太地町介護保険事業補正予算（第 1 号） 【可決】

※平成 29 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業補正予算（第 1 号） 【可決】

決算の認定

※平成 28 年度太地町一般会計歳入歳出決算 【賛成多数で認定】

※平成 28 年度特別会計太地町国民健康保険事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 28 年度特別会計太地町介護保険事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 28 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 28 年度特別会計太地町都市計画公共下水道事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 28 年度特別会計太地町くじらの博物館事業歳入歳出決算 【賛成多数で認定】

※平成 28 年度企業会計太地町水道事業会計決算 【認定】

その他

※那智勝浦町・太地町・古座川町・北山村障害支援区分等認定審査会の共同設置【可決】

※和歌山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更 【可決】

議員派遣の件

◇高台整備検討特別委員会

委員長	花村	計
副委員長	久原	拓美
委員	漁野	尚登
委員	塩崎	伸一
委員	森岡	茂夫
委員	福田	忠由
委員	三原	勝利
委員	水谷	育生
委員	山下	雅久
委員	山本	真一郎

一般質問

※森岡 茂夫 議員

1. 県の住宅耐震改修事業「耐震ベッド・シェルター」について
 - ①耐震ベッド・シェルターの町内での実施状況と今後の取組みについて
2. 大地震後に発生する電気火災対策について
 - ①電気火災の原因となる「通電火災」対策への取組みについて
3. 西地貯水槽の老朽化対策について
 - ①西地貯水槽の更新と災害に備える耐震性貯水槽設置について

※漁野 尚登 議員

1. 全国瞬時警報システム（Jアラート）について
 - ①太地町で全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令された場合の対処方法について
2. 道の駅たいじについて
 - ①道の駅たいじの現状について
3. くじらの博物館について
 - ①小型鯨類の譲渡について
 - ②くじらの博物館の運営について
4. 姉妹都市について
 - ①フェロー諸島との姉妹都市提携について

平成 29 年度 太地町盆供養花火大会収支決算書

平成 29 年度盆供養花火大会が 8 月 14 日に開催されました。町民各位のご高配とご支援により、無事挙行できましたことを謹んで御礼申し上げます。

遅くなりましたが、次のとおり収支決算についてご報告させていただきます。

今後とも、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収入の部

科 目	金 額	摘 要
1. 寄附金及び補助金	5,453,000 円	特別協賛 3,623,000 円
		町内一般協賛 1,130,000 円
		町助成金 500,000 円
		追善供養 200,000 円
2. 繰越金	242,311 円	前年度繰越金
3. 利息	8 円	預金利息
合 計	5,695,319 円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
1. 事業費	4,900,000 円	花火代金 紀州煙火 和田煙火
2. 賃金	151,360 円	海上警備・臨時バス運転 雑踏警備
3. 需用費	102,171 円	消耗品費・食糧費 プログラム印刷費
4. 役務費	97,720 円	口座振替取扱手数料・郵便料 傷害保険料・印紙代・クリーニング代
5. 委託費	37,800 円	音響設置委託
6. 賃借料	54,540 円	ユニックレンタル料
合 計	5,343,591 円	

収入支出差引金額（翌年度繰越金） 351,728 円

太地町花火大会実行委員会

委員長 小畑 充規



第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱 はじける笑顔

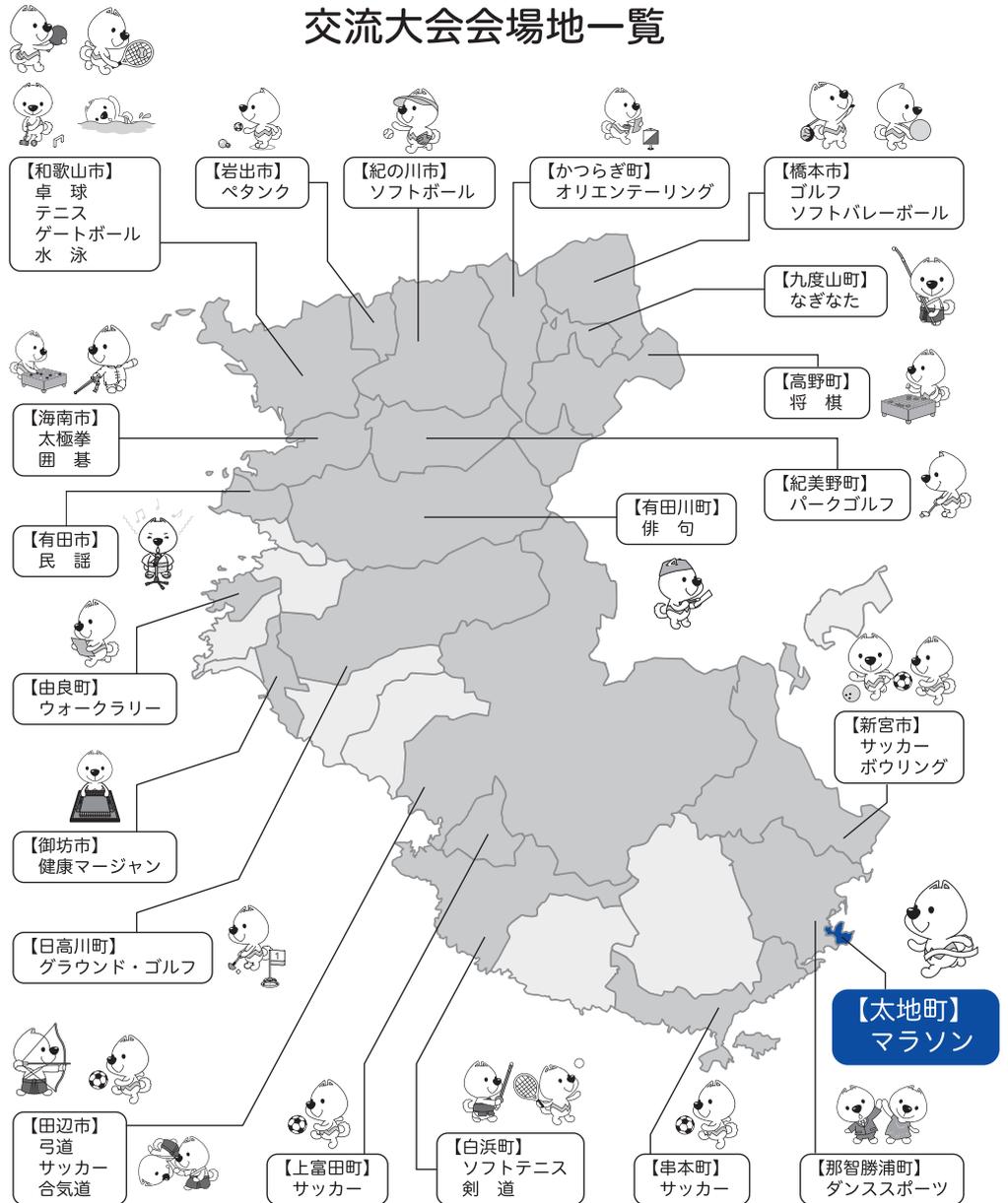
平成31年11月9日(土)～12日(火)

●平成31年11月9日(土)～12日(火)、和歌山県において「第32回全国健康福祉祭和歌山大会(愛称:ねんりんピック紀の国わかやま2019)」が開催されることになり、県内21市町で27種目(スポーツ交流大会10種目、ふれあいスポーツ交流大会12種目、文化交流大会5種目)が実施されます。

太地町は「マラソン競技」の開催地【開催日:平成31年11月10日(日)】に決定し、全国から選手の皆さんや競技スタッフの方々が来町されますので、町民の皆様方には温かくお迎えしていただくようご協力をよろしくお願いいたします。

【ねんりんピック】とは…スポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、60歳以上の方々を中心とする国民の健康の保持・増進・社会参加・生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的とした祭典です。

交流大会会場地一覧



ねんりんピック紀の国わかやま2019実行委員会事務局(ねんりんピック推進室内)
〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地 東別館5階
TEL:073-441-2570 FAX:073-436-1570 E-mail:nenrin2019@pref.wakayama.lg.jp
URL:http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040300/nenrinpic/nenrinpicctoha.html



住民福祉課だより

健診はお済みになりましたか？

下記の健診が今年度最後の健診です。ぜひこの機会に受診して日々の健康管理に役立てましょう。

日 程	場 所	内 容
11月26日(日)	多目的センター	特定健診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診 胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診 肺がん検診 ※午前のみ実施

★「肺がん検診」の事前申込みは必要ありません。受診を希望される方は上記の検診実施日にお越し下さい。

★受診料・対象者などその他詳細につきましては、検診申し込み表とともに配布されている「各種健診のご案内」をご覧ください。

特定健診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診・胃がん検診・子宮がん検診・乳がん検診は平成30年1月まで下記の実施医療機関でも受けられます。受診券が必要になりますので、事前に下記までお申し込み下さい。

検診の種類	実施医療機関
特定健診 肝炎ウイルス検診 前立腺がん検診 胃がん検診(胃内視鏡検査)	坂野医院
子宮がん検診	いずみウイメンズクリニック(新宮市) 産婦人科矢島医院(新宮市) 新宮市立医療センター(新宮市)
乳がん検診	新宮市立医療センター(新宮市) けんゆうクリニック(串本町)

◎健診の申し込み先

- 太地町役場住民福祉課 または
- 健康づくり推進員

筒井 恵美	平見
清水 文	
磯崎 多津子	大東
庄司 和子	小東・寄子路
奥村 洋子	新屋敷
小畑 真理	水の浦
太田 卓子	暖海
上中 佳苗	森浦

太地町国保の皆さまへ

特定健診～毎年受けよう!!! 健康診断～

★特定健診はなぜ必要なの？

平成20年度から、生活習慣病の予防に着目した「特定健診」がスタートしました。

生活習慣病は発症するまでに、ほとんど自覚症状がありません。だからこそ病気が発症する前に健診を受けることをおすすめします。

★平成28年度の受診率・・・ 太地町の約7割の方が未受診です

検診の種類	太地町国民健康保険に加入している 40歳～74歳の方
検査の内容	診察、心電図、血圧測定、尿検査、身体計測、 血液検査(脂質・血糖・肝機能・貧血・腎機能)
自己負担金	無料

日程、実施医療機関は上記の検診実施医療機関をご参照下さい



「津呂組奥宮捕鯨絵図」河田小龍筆、安政2年(1855)、室戸市教育委員会所蔵

手形切り

Cutting a Hole on a Whale

古式捕鯨では、しとめたクジラが海底に沈んでしまうと引き揚げるのが難しかったので、銚を突き立てられたクジラが完全に死んでしまう前に、あるいは剣でとどめを刺す前に、綱でクジラを舟に縛り付ける必要がありました。

二つあるクジラの鼻の穴の間の壁を包丁で切って穴を開け、そこに最初の綱を通しました。この作業は「鼻切り」と呼ばれました。あるいは鼻の穴の近くの背中に、包丁で二本の平行な線を切り込み、二か所の切り口の間をくじって穴を開ける場合もあり、これは「手形切り」と呼ばれました。クジラの種類によって切り開く場所や向きが異なっていたようです。

渋沢敬三が主催したアチック・ミュージアムに参加し

た民俗学者たちは、昭和の初めに土佐室戸の古式捕鯨経験者を訪ねて細かく質問しています。彼らの研究を通して、現代人には想像することが困難な古式捕鯨の世界を垣間みることができます。吉岡高吉著『土佐室戸浮津組捕鯨實録』によれば、「刃を向うにして」包丁を右手に持ち、手前に引くのではなく、押して切り裂き、切り口に腕を突っ込んで綱を通すための穴を開けたそうです。

土佐藩の絵師である河田小龍が、讃岐の金刀比羅宮に奉納する絵馬の下絵として描いたと言われる絵が室戸に残っています。手形包丁の刃が、確かに外側を向いています。捕鯨を実見するために舟にも乗ったという絵師は、手形切りの細部を正確に表現しています。



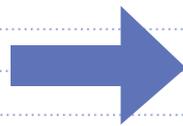
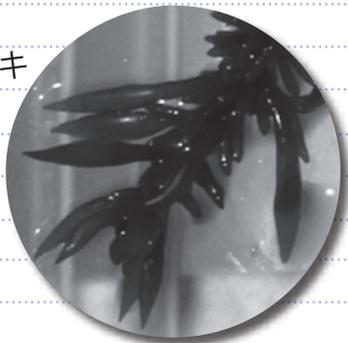
「干す」という知恵

農業や漁業が盛んな紀南地方では、とれたての新鮮な野菜や魚を食べることが出来ます。しかし、農作物や水産物は、時間と共に品質が悪くなるという特徴もあります。そして、海からとれるものは、特に鮮度が落ちやすいことはみなさんご存知だと思います。種類によって劣化の速度がとても速いものもあり、とれる地域の近隣にしか流通していないという魚も多いのです。魚が「食の方言」とも言われるほどバラエティに富んでいるのは、おそらくこうした水産物の性質も関係しているのではないのでしょうか。

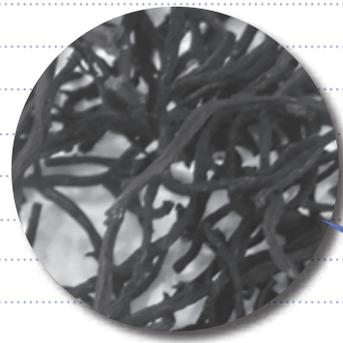
保存期間を少しでも長くできる知恵のひとつとして、「干す」という加工技術があります。私たちは、日常的にたくさんの「干したもの」を食べています。例えば、お米。収穫された稲穂を脱穀し、乾燥させています。また、お味噌汁のおだしには、にぼしやこんぶ、かつおぶしなど、水産物を干したものが使われます。そして、和歌山県の特産品である「梅干し」も、梅を天日で干すという手間が加わっていますね。ほかに、ノリやかんぴょう、にぼし、はるさめなど、私たちの食卓を支え、舌をよろこばせてくれるものはたくさんあります。あまりにも身近すぎて、改めて「干したものだ」と気づくことも少ないのではないのでしょうか？

干すことで、まず多くのものは軽くなります。太地に春、刈り取られる「ヒジキ」もそうですね。濡れているときはとても重く、刈り取り作業は大変ですが、天日で干すことによりとても軽くなります。持ち運びに便利になるということは、人や動物がものを運んでいた時代には重要なことでした。

干す前のヒジキ
(拡大)



干した後のヒジキ
(拡大)



水分が抜けて、
軽くなる

また、先ほど述べたように水分が抜け、保存がききやすくなります。それらに加えて、「違うおいしさが加わり、調理の幅が広がる」ということも大切なポイントです。コビレゴンドウはお刺身でも美味しいですが、干物にするとまた違ったうまみが加わって、一層味わいのあるものになります。カツオのお刺身もおいしいですが、かつおぶしになって、おだしをとったり薬味として使うことで、料理のレパートリーを増やすことに一役も二役もかってくれます。こんなふうに、「干す」ものを取り入れることで、私たちの食卓はとても豊かなものになるのです。

もちろん紀南地方には、「ゴンドの干物」「サンマの丸干し」「イラギの干物」など、ユニークな干物がたくさんありますね。ぜひ、今日の食卓で、「干して」食べているものにはどんなものがあるのか、太地や紀南地方にしかない「干したもの」は何なのか、ぜひ興味を持ってみてください。

お知らせ

軽減税率制度説明会を開催します

【日時】平成29年11月15日（水）15時15分～16時15分

※年末調整説明会に引き続き開催します。

【会場】那智勝浦町体育文化会館（東牟婁郡那智勝浦町大字天満字木戸浦4-4-1-8）

※どなたでもご参加頂けますが、会場の収容人数を超えた場合には、受付を終了する場合があります。予めご了承下さい。

【問合せ先】新宮税務署 法人課税部門 ☎ 0735-22-5261（お電話の際は、音声ガイダンスに沿って、「2」を選択して下さい）

お知らせ

自衛官（学生）等募集案内

受検種目		応募資格	受付	試験日	試験会場
自衛官候補生		18歳以上27歳未満の男女	随時	11月25日	自衛隊和歌山地本（和歌山市）
高等 工科 学校	推薦	中卒（見込含）17歳未満の男子で、学校長が推薦できる者	11月1日～12月1日	平成30年1月6日～8日の、いずれか1日を指定	陸上自衛隊武山駐屯地（横須賀）
	一般	中卒（見込含）17歳未満の男子	11月1日～平成30年1月9日	1次 平成30年1月20日	田辺市民総合センター
貸費学生		現在、大学3・4年次又は大学院に在学の方 ※条件有、細部はお問い合わせ下さい。	11月1日～平成30年1月9日	平成30年1月27日	全国主要都市 ※54,000円/月、防衛省から学資金が貸与されます。

※お問合せは、自衛隊新宮地域事務所（☎ 0735-21-3449）までお願いします。

※採用は来春（30年4月）予定となっております。

お知らせ

「税を考える週間」 ～税について\ちょっと/考えてみよう!～

11月11日（土）～11月17日（金）

国税庁では、国民の皆様には税の意義、役割や税務行政の現状をより深く理解していただくため、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、様々な広報活動を実施しています。

今年の「税を考える週間」では、「暮らしを支える税」をテーマとして、国民の皆様には国民生活と税の関わりを理解してもらうことにより、国民各層の納税意識の向上を図ることとしています。

また、国税庁ホームページでは、「税を考える週間」の実施に合わせて、ドラマ仕立ての動画で国税庁の仕事や各種取組を紹介しています。

詳しくは、国税庁ホームページを御覧下さい。

お知らせ

最低賃金確認した？

和歌山県最低賃金 時間額777円 効力発生日 平成29年10月1日

仮に最低賃金額より低い賃金を労使合意で定めても、法律により無効とされ、最低賃金額と同額の定めをしたものとみなされます。

詳しいことは、和歌山県労働局賃金室（☎ 073-488-1152）又は、最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

お知らせ

ご存じですか？宝くじは皆さんの生活に役立っています

皆さんが購入される宝くじの収益金は、県内の売上に応じて道路や公園整備などの事業に活用され、暮らしに役立っています。

宝くじのご購入はぜひ県内でお願いします。

ドリームジャンボ宝くじ 1等・前後賞あわせて6億円

ドリームジャンボミニ7,000万円も同時発売

発売日：5月13日～6月5日

問合せ：県庁財政課 ☎ 073-432-4111（代表）

お知らせ

平成29年度 各講習日程表（12月～3月）

講習の名称	日時	場所	受講料等	受付開始予定
型枠支保工の組立て等 作業主任者	12月6日(水)～ 12月7日(木)	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥10,590	11月6日(月)～
足場の組立て等 作業主任者	1月23日(火)～ 1月24日(水)	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥10,290	12月25日(月)～
木造建築物の組立て等 作業主任者	2月6日(火)～ 2月7日(水)	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥10,180	1月9日(火)～
地山の掘削及び土止め 支保工作業主任者	3月6日(火)～ 3月8日(木)	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥17,690	2月5日(月)～

- (注) 1. 講義時間は、何れも AM9時～PM5時（講義内容により、変更があります。）
2. 講習会の受付は、講習会開催の約1ヶ月前からです。
3. 受講料は当方に御持参戴くか、又は現金書留でお願いします。
4. 受講料等には、テキスト代が含まれています。
テキスト代が改定された場合は、受講料を改定させていただく場合があります。
5. 定員になり次第、締め切ります。
6. 申込者が少数の場合は、講習会を取り止めさせていただく場合があります。

問合せ：建設業労働災害防止協会和歌山県支部 ☎ 073-436-1327

お知らせ

和歌山県自閉症協会講演会のお知らせ

和歌山県発達障害者支援センターポラリスでは、「自閉スペクトラム症と関連する臨床的問題と支援の方向性 - 不登校、就労困難、二次障害、司法事例化 - 」と題した講演会を共催させていただきます。

講師：十一元三（といち・もとみ）先生（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授）

日時：12月23日（土）12：30～16：00（受付12：00～）

場所：和歌山県立情報交流センター（ビッグ・ユウ）

対象：発達障害者・保護者・支援者・一般の方等

定員：450人（先着順）無料

お申込み・お問い合わせ先：和歌山県発達障害者支援センターポラリス

（ファックス）073-413-3020

（メール）polaris@jtw.zaq.ne.jp

（申込みフォーム）ポラリスホームページ <http://aitoku.or.jp/polaris/> の申込用紙又は

QRコードもご活用下さい。



《保健衛生関係 11 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
11月1日(水)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム
11月15日(水)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム

健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
11月8日(水)	成人健康相談(血圧測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
11月22日(水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
11月27日(月)	成人健康相談(血圧測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
11月6日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
11月20日(月)			
11月13日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	森浦集会所
11月27日(月)			

健診

月 日	事業名	時 間	場 所
11月2日(木)	10か月児健診	9:00～9:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
11月26日(日)	特定・胃・大腸・子宮・乳がん、 胸部レントゲン検診	8:30～9:30(受付)	多目的センター
11月30日(木)	4か月児健診	9:00～9:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター



白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー

ふるさと納税自治体連合表彰

ふるさと納税を活用して取り組んでいる白馬高校の魅力づくり事業が、「ふるさと納税を地域の活性化につなげた優れた事例」として「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」により表彰されました。

9月27日に開催された「日経地方創生フォーラム第1部『ふるさと納税の未来を考える』」にて表彰式が行われ、村長が出席しました。今後多くの方にご支援いただけるよう、皆さんのご協力をお願いします。

住民基本台帳
(平成29年9月末日現在)
総人口 3,200人
男 1,453人
女 1,747人
世帯数 1,634世帯
(前月比: 総人口 6人減
世帯数 2世帯減)

11月5日(日)
太地浦くじら祭
会場 太地漁協ふれあい広場